

平成 24 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ロジコム
 代表者名 代表取締役社長 本 荘 良 一
 (コード 8938 JASDAQ・G)
 問合せ先 取締役管理部ゼネラルマネージャー 涌井 弘行
 (TEL 042-565-2111)

平成 24 年 3 月期 通期連結業績予想の修正及び個別前期実績との差異並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 24 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、個別業績予想につき、下記の通り前事業年度の実績値と比較して差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

また、上記集計の過程で、特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

I. 連結業績予想の修正及び個別前期実績との差異

1. 平成 24 年 3 月期連結業績予想の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,460	370	200	△140	△7,279 円 03 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,415	124	△27	90	4,448 円 77 銭
増 減 額 (B - A)	△1,045	△246	△228	230	—
増 減 率 (%)	△14.0	△66.5	—	—	—
【ご参考】 前事業年度 (平成 23 年 3 月期) 実績	6,524	△32	△211	△457	△23,634 円 45 銭

（△は損失、又はマイナスを示しております）

2. 平成 24 年 3 月期個別業績予想数値及び前期実績との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前 期 実 績 (A) (平成 23 年 3 月期)	4,838	△27	△163	△365	△18,899 円 39 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	4,829	270	158	△36	△1,802 円 58 銭
増 減 額 (B - A)	△8	298	322	329	—
増 減 率 (%)	△0.2	—	—	—	—

（注）当社は平成 24 年 3 月期の個別業績予想を開示していないため、前期実績との増減率により

適時開示しております。

3. 業績予想の修正並びに業績との差異の理由

(1) 連結業績予想の修正について

子会社が営業者として計画しておりました不動産販売（コンドミニアムの販売）は、震災の影響で見込んでいた外国人顧客への販売が成就せず、売上高は 950 百万円、営業損益以下 310 百万円の利益が未達成となりました。また、Ⅱ．に記載しております特別損失の計上がありました。一方、個別業績の大幅な改善、並びに平成 23 年 9 月の㈱本巣ショッピングワールド の取得による負ののれん発生益 246 百万円が寄与し、当期純損益は 90 百万円の利益を確保することができました。

(2) 個別実績予想と前期実績との差異

売上高は前年とほぼ同レベルながら、空床率の改善、原価低減、販管費の節減等の施策が奏功し、営業損益以下、前期比約 300 百万円の利益の改善を達成することができました。なお、Ⅱ．に記載の特別損失が発生したため、当期純損益は 36 百万円の損失という結果となりました。

Ⅱ. 特別損失の計上

個別業績におきましては、当社連結子会社である国分寺建設株式会社に対する長期貸付金 109 百万円を関係会社貸倒引当金繰入額として、また、同社に関する関係会社株式 53 百万円を関係会社株式評価損として特別損失に計上いたします。なお、当該計上は連結決算においては消去されるため、個別業績のみの反映となり、連結業績に与える影響はございません。

なお、連結業績におきましては、国分寺建設株式会社の子会社化（平成 22 年 2 月）により発生したのれんの残高全額を、のれん償却額 46 百万円として特別損失で計上することといたしました。

これら特別損失の計上につきましては、「Ⅰ. 連結業績予想の修正及び個別前期実績との差異」に織り込み済みであります。

以 上

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。